

**平成 20 年度
第 121 回生存圏シンポジウム
- RISH 電波科学計算機実験(KDK)シンポジウム -
プログラム**

日時： 平成 21 年 3 月 16 日、17 日

場所： 16 日 京都大学 宇治キャンパス (口頭発表)

総合研究実験棟・5 階 HW525

17 日 京都大学 宇治キャンパス (ポスター発表)

総合研究実験棟・2 階講義室(CB207)

主催： 京都大学 生存圏研究所

電波科学計算機実験専門委員会

宇治地区は現在耐震改修工事が行われており、通常の正門は使えません。南門からお入りください。

3 月 16 日(宇治キャンパス, HW525)

13:00-13:15 AKDK 紹介と来年度運用について

臼井 英之(京大・生存圏)

13:15-13:40 超並列ブラソフシミュレーションの展望

梅田 隆行(名古屋大学, STEL)

13:40-14:05 大規模高周波電磁界解析のためのブロックマルチカラーオーダリングを用いた並列マルチグリッド法

美船 健(京都大学大学院工学研究科)

[座長：加藤] 休憩

14:15-14:40 準垂直衝撃波における電子の振る舞い

松清 修一(九州大学、総理工)

14:40-15:05 宇宙プラズマ中の大規模渦中における混合過程：完全粒子シミュレーション

中村 琢磨 (JAXA)

15:05-15:30 Alfvén 波と CIR の相互作用による magnetic decrease 構造形成のハイブリッドシミュレーション

坪内 健(情報通信研究機構)

[座長：坪内] 休憩

15:45-16:10 三次元高速磁気再結合過程の磁気中性線の形成について

清水 徹(愛媛大学 宇宙進化研究センター)

16:10-16:35 航空宇宙用 MHD 発電機の 3 次元数値解析

石川 本雄(筑波大学)

16:35-17:00 Study of properties of whistler-mode chorus wave generation by electron hybrid simulations

加藤 雄人(東北大学大学院理学研究科)

■ 17日午前にポスターセッションを宇治キャンパス・総合研究実験棟2階化研講義室(CB207)で行います。ボードは180cm(横)×120cm(高さ)。

3月17日ポスターセッション(コア時間:10:00 12:00、ポスターは9時半ごろから準備できます。)

- (1) 2次元 FDTD 法を用いた電離圏空間構造に関する研究
三宅 壮聡 (富山県立大学)
- (2) 月面反射波を利用した月電離層探査に関する理論的検討
藤本 貴政 (金沢大学)
- (3) 熱帯上部対流圏における準定在循環の構造
西 憲敬 (京都大学大学院理学研究科)
- (4) 将来磁気圏衛星搭載用電界アンテナの波動受信特性評価に関する計算機実験
三宅 洋平 (京大・RISH)
- (5) 電子ハイブリッドシミュレーションを用いた電離圏プラズマ中におけるインピーダンス計測結果の考察
鈴木 朋憲 (東北大学)
- (6) 地球マグネトシースにおけるミラー不安定性とLモード電磁イオンサイクロトロン不安定性の競合関係
小路 真史 (京大・RISH)
- (7) ミニ磁気圏計算のためのハイブリッドコード開発
中村 雅夫 (大阪府立大学)
- (8) 磁気プラズマセイルの性能評価にむけたハイブリッド粒子シミュレーション
梶村 好宏 (京大・RISH)
- (9) 水素 MPD 推進機モデリングと電磁流体解析
佐藤 博紀 (総合研究大学院大学)
- (10) 太陽および天体の電磁流体力学現象の解明
浅野 栄治 (京都大学大学院理学研究科)
- (11) 連結階層シミュレーションによる衝撃波イオン加速の解析
杉山 徹 (地球シミュレータセンター)
- (12) コーラスによる磁気圏電子の非線形散乱に関する粒子シミュレーション
疋島 充 (金沢大学)
- (13) A simulation study of mode conversion from UHR-mode waves to LO-mode waves in equatorial region
Kalaee, Mohammad Javad (東北大学)
- (14) 3D Electromagnetic Particle-In-Cell Simulations of a Magnetron Based on the Realistic Model
浦西 洋輔 (京大・RISH)